

【東北支部】

東北大学多元物質科学研究所
-ベースメタル研究ステーションワークショップ-

「鉄鋼プロセスを対象とした高度数値計算ワークショップ」

平成 22 年 11 月 4 日

近年、計算機のハード及びソフト技術の急速な進歩により鉄鋼の製鉄、製鋼プロセスを対象にした高度なシミュレーションが可能になってきました。複雑系である高炉、製鋼プロセスの様々な現象の新たなモデル化、シミュレーションが始まろうとしています。本ワークショップでは、この分野の第1戦の研究者に至近の計算成果の紹介、今後の課題について講演をお願いし、関係者で討議を行いつつ、さらなる発展のための情報交流を行うことを目的にしています。

主 催: 日本鉄鋼協会高温プロセス部会製鉄フォーラム 分散層移動研究 Gr.

東北大学多元物質科学研究所ベースメタル研究ステーション

共 催: 日本鉄鋼協会東北支部、日本金属学会東北支部

日 時: 2011 年 1 月 21 日(金)

場 所: 東北大学多元物質科学研究所事務棟大会議室

(〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1)

プログラム(案)

13:30-13:40 趣旨説明 一関高専 埜上 洋(研究 Gr 主査)

13:40-14:20 「高炉適用を目指した DEM+CFD 計算の高速化」

東北大学 夏井俊悟

14:20-15:00 「分子動力学法シミュレーションによる高温物性値の導出」

—GPGPU の鉄鋼分野への応用に向けて—

東京大学 澁田 靖

15:10-15:50 「粒子法の鉄鋼精錬プロセス解析への応用」

早稲田大学 伊藤公久

15:50-16:30 「鍋交換時におけるタンディッシュ内介在物挙動の数値解析」

—企業の事例紹介と課題について—

JFE スチール 石井俊夫

参加費用: 無料

連絡先 : 東北大多元研有山達郎

TEL&Fax: 022-217-5156、E-mail: ariyama@tagen.tohoku.ac.jp